



ご存じですか？



今後30年以内に震度6弱以上の地震が発生する確率 千葉市が最も高い**85%**

(地震調査委員会 平成29年4月発表)

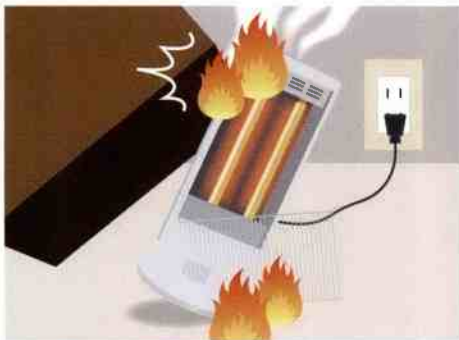
阪神淡路大震災や東日本大震災で発生した火災の
6割以上が電気に起因する火災とされています。



地震による火災には 「地震発生直後の火災」と「通電火災」があります！

地震発生直後の火災

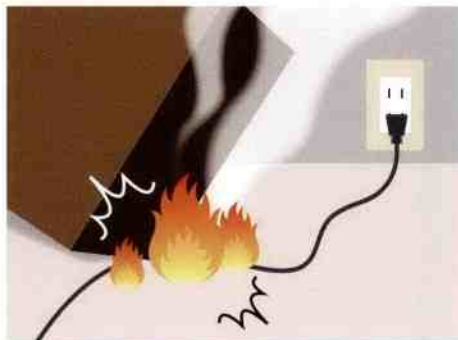
電気器具が転倒し、可燃物と接触する
などして起こる。



◆地震発生時の電気火災例
重い物が倒れて、壊れた電気製品から発火

通電火災

停電が発生し、その後電気が復旧した際、可燃物が落下した電気ストーブや破損
した電源コードなどに再び電気が通ることが原因で火災が起こる現象。



◆地震による電気火災例
電源コードの被膜が破れて短絡(ショート)に
より発火



◆復電時の電気火災例
復電後、電気製品に落下した可燃物から発火

地震による電気火災対策には、 感震ブレーカー等が効果的です。



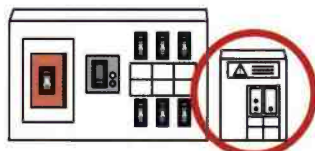
感震 ブレーカー等 とは..

「感震ブレーカー等」は、設定値以上の揺れを感知し
たときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的
に止める器具です。

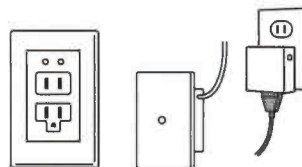
主な
感震ブレーカー
の種類



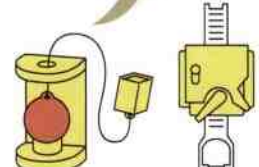
分電盤タイプ(内蔵型)



分電盤タイプ(後付型)



コンセントタイプ



簡易タイプ

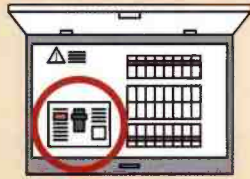
感震ブレーカー等の設置の留意点



製品ごとの特徴・留意点を踏まえ、適切に選びましょう！

分電盤タイプ(内蔵型)

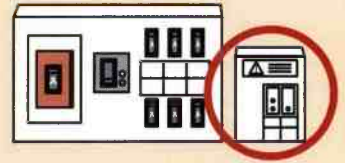
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、3分間警報音で知らせた後、ブレーカーを切って電気を遮断します。



費用：約5～8万円
※電気工事が必要

分電盤タイプ(後付型)

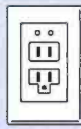
分電盤に感震機能を外付けするタイプでセンサーが揺れを感知し、3分間警報音で知らせた後、ブレーカーを切って電気を遮断します。



費用：約2～4万円
※電気工事が必要

コンセントタイプ(埋込型)

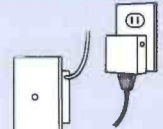
コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントの電気を遮断します。



費用：約2万円
※電気工事が必要

コンセントタイプ(差込型)

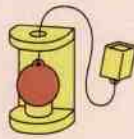
センサーが揺れを感知し、電波等により複数の子機に信号を送り、子機のコンセントの電気を遮断します。



費用：約5千～2万円
※電気工事必要なし

簡易タイプ(おもり玉式)

ブレーカーに直接取り付け、一定の震度により「おもり」の玉が落下し、ブレーカーを切って電気を遮断します。



費用：約3千円
※電気工事必要なし
ホームセンターや家電量販店で購入可能

簡易タイプ(バネ式)

ブレーカーに直接取り付け、一定の震度により揺れを内部センサーが感知すると、ばねが作動し、ブレーカーを切って電気を遮断します。



費用：約4千円
※電気工事必要なし
ホームセンターや家電量販店で購入可能

簡易タイプ(電池式)

簡易タイプですが、分電盤タイプと同様の機能を持っています。震度5強相当以上で作動し、警報音とライトが点灯し、3分後に電気を遮断します。本体と遮断部により構成され、地震の揺れを内部センサーが感知し、接続するマイコンに信号を送り作動します。本体は乾電池のため、約10年で電池交換が必要です。



費用：1万円
※電気工事必要なし
※インターネットでの購入のみ

注意して
ください!!

- 生命の維持に直結するような医療用機器を設置している場合、停電に対処できるバッテリーを備えてください。
- 夜間の照明確保のために、停電時に作動する足元灯や懐中電灯などの照明器具を常備しましょう。

この資料に関するお問い合わせ先



千葉市消防局予防部予防課内
感震ブレーカー等相談窓口

千葉市中央区長洲1-2-1

☎043-202-1613

